



## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月15日

上場会社名 日本ホスピスホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7061 URL https://www.jhospice.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 正  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 加藤 晋一郎 TEL 03-6368-4154  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第1四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,104	16.7	47	△54.3	13	△81.6	4	△89.7
2019年12月期第1四半期	946	—	103	—	71	—	46	—

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 4百万円 (△89.7%) 2019年12月期第1四半期 46百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	0.62	0.59
2019年12月期第1四半期	6.56	6.48

- (注) 1. 2018年12月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。
2. 当社は2019年3月28日付で東京証券取引所マザーズに上場したため、2019年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新規上場日から前年同四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 2019年1月14日開催の取締役会決議により、2019年1月31日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行いました。2019年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	4,893	1,134	23.1
2019年12月期	4,688	1,049	22.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 1,130百万円 2019年12月期 1,044百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	24.0	550	9.7	400	3.4	240	△19.4	31.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による事業への影響については、現在のところ軽微であります。今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、新規ホスピス住宅の開設スケジュールの変更や新型コロナウイルス感染防止への対策費用が増大する可能性がありますので、今後の推移状況を注視してまいります。また、業績予想に変更が生じた場合には、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期1Q	7,887,000株	2019年12月期	7,444,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	119株	2019年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期1Q	7,716,053株	2019年12月期1Q	7,109,555株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料（P3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 経済状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げを起因とした個人消費の落ち込みに加え、新型コロナウイルス感染症の影響で急速に悪化しました。海外でも新型コロナウイルス感染症により欧米や中国をはじめとした諸外国が休業要請や外出自粛により経済活動が停滞しました。新型コロナウイルス感染症により世界経済の先行きが不透明な状況です。

## ② 市場環境

当社グループの事業に関わる医療・看護・介護の環境につきましては、高齢者の増加と共に市場が拡大し需要が増加する一方で、社会保障費の抑制を目的として、病院を中心とした施設から在宅を中心とした医療へのシフトが進み、医療と介護の連携や地域単位でのケア体制の整備等が促進されると予想しております。

## ③ 2020年1月～3月におけるホスピス施設の状況

このような状況の中、当社グループは「すべては笑顔のために」というコーポレートスローガンを掲げ、在宅での看取りを前提とした、在宅ホスピスの事業を推進してまいりました。当第1四半期連結累計期間においては、これまでの施設に加えて、2020年3月に「ファミリー・ホスピス茅ヶ崎ハウス（神奈川県茅ヶ崎市）」を新規に開設し、引き続き拠点の拡大を進めてまいりました。なお、新設施設を含めて、各ホスピスの稼働率はいずれも順調に推移しており、新型コロナウイルス感染拡大による稼働率への影響は、現在のところありません。

## ④ 4つの施設の開設初期費用（初期費用：開設コスト及び黒字化に至るまでの赤字額）

当第1四半期連結累計期間においては、2019年12月開設の「ファミリー・ホスピス二子玉川ハウス」の施設黒字化に至るまでの赤字期間、2020年3月開設の「ファミリー・ホスピス茅ヶ崎ハウス」の開設コスト及び黒字化に至るまでの赤字期間、並びに当第2四半期に開設を予定している2施設の開設コスト等により、第1四半期に新規ホスピス施設の開設がなく、また第2四半期の開設が1施設であった前年同期に比べ、利益額が減少しております。

## ⑤ 当社の施設損益

当社グループの運営する施設は、開設に先立って看護師等の従業員を採用することでホスピスチームを作り、ホスピスチームが確立した事を確認して施設を開設し、開設した後に順次入居者を受け入れる形で運営を行っていることから、一定の稼働率に至るまでは売上に対して人件費等の費用が先行して発生することになります。また、施設開設後、約半年から9か月をかけて当社グループが満室の目安とする85%の稼働率に至る計画で展開しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、1,104,605千円（前年同期比16.7%増）となりました。利益に関しては、営業利益が47,473千円（前年同期比54.3%減）となり、支払利息等の営業外費用34,765千円を計上した結果、経常利益は13,229千円（前年同期比81.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,797千円（前年同期比89.7%減）となりました。

当社グループは、在宅ホスピス事業の単一セグメントであります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4,893,779千円となり、前連結会計年度末に比べて205,296千円増加しました。これは主に、現金及び預金が20,550千円、売掛金が44,928千円減少した一方で、リース資産が266,000千円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は3,759,553千円となり、前連結会計年度末に比べて120,269千円増加しました。これは主に、未払費用が34,246千円、未払法人税等が84,057千円、長期借入金が25,740千円減少した一方で、リース債務が256,419千円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,134,225千円となり、前連結会計年度末に比べて85,026千円増加しました。これは主に、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ40,680千円増加したことによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は23.1%となり、前連結会計年度末の22.3%に比べて0.8ポイント増加しております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績につきましては、2020年2月13日に公表した「2019年12月期 決算短信」に記載した2020年12月期の連結業績予想から変更はございません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による事業への影響については、現在のところ軽微であります。今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、新規ホスピス住宅の開設スケジュールの変更や新型コロナウイルス感染防止への対策費用が増大する可能性がありますので、今後の推移状況を注視してまいります。また、業績予想に変更が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	827,687	807,137
売掛金	744,993	700,064
その他	53,241	52,130
流動資産合計	1,625,922	1,559,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	140,357	142,915
機械装置及び運搬具	10,205	10,205
工具、器具及び備品	68,505	69,876
リース資産	2,219,539	2,485,539
建設仮勘定	290	9,290
減価償却累計額	△262,827	△287,882
有形固定資産合計	2,176,071	2,429,944
無形固定資産		
のれん	565,799	551,831
その他	4,539	4,182
無形固定資産合計	570,338	556,014
投資その他の資産		
繰延税金資産	61,229	93,718
その他	254,921	254,769
投資その他の資産合計	316,150	348,487
固定資産合計	3,062,560	3,334,447
資産合計	4,688,483	4,893,779

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	102,960	101,360
リース債務	36,407	37,773
未払金	46,227	48,703
未払費用	257,076	222,830
預り金	107,934	87,896
未払法人税等	125,865	41,807
賞与引当金	6,404	41,122
その他	34,783	26,665
流動負債合計	717,658	608,159
固定負債		
長期借入金	666,680	640,940
リース債務	2,135,506	2,391,926
その他	119,438	118,527
固定負債合計	2,921,625	3,151,394
負債合計	3,639,284	3,759,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,250	334,930
資本剰余金	652,056	692,736
利益剰余金	98,022	103,120
自己株式	△195	△266
株主資本合計	1,044,133	1,130,520
新株予約権	5,065	3,705
純資産合計	1,049,199	1,134,225
負債純資産合計	4,688,483	4,893,779

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	946,622	1,104,605
売上原価	717,634	916,629
売上総利益	228,987	187,975
販売費及び一般管理費		
役員報酬	20,534	21,243
給料及び手当	21,566	26,189
賞与引当金繰入額	2,113	1,214
法定福利費	4,942	6,236
租税公課	20,059	30,442
のれん償却額	13,968	13,968
その他	41,850	41,208
販売費及び一般管理費合計	125,035	140,502
営業利益	103,952	47,473
営業外収益		
受取利息	1	3
業務受託料	—	308
その他	55	209
営業外収益合計	57	522
営業外費用		
支払利息	27,444	34,765
その他	4,736	—
営業外費用合計	32,180	34,765
経常利益	71,828	13,229
税金等調整前四半期純利益	71,828	13,229
法人税、住民税及び事業税	33,250	40,921
法人税等調整額	△8,084	△32,489
法人税等合計	25,166	8,432
四半期純利益	46,662	4,797
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,662	4,797



（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）
四半期純利益	46,662	4,797
四半期包括利益	46,662	4,797
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,662	4,797

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ40,680千円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が334,930千円、資本剰余金が692,736千円となっております。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、在宅ホスピス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。